

要望書に対する賛成の意向を表明して頂いた顧問の方々 (番町在住や番町にご縁の深い著名人の方々です)

- ・伊藤滋
東京大学名誉教授
- ・柳井俊二
国際海洋法裁判所裁判官
- ・小倉和夫
国際交流基金顧問
- ・田中信明
元国連事務次長
- ・福川裕一
全国町並み保存連盟代表理事・千葉大学名誉教授
- ・五十嵐敬喜
弁護士・法政大学名誉教授・元内閣官房参与
- ・上山良子
ランドスケープアーキテクト・元長岡造形大学学長
千代田区景観審議会元委員
- ・大平裕
大平正芳記念財団理事
- ・松永安光
建築家HEAD研究会理事長
- ・花柳瀧知
舞踊家
- ・藤原房子
ジャーナリスト、元日経新聞編集委員、
日本エッセイスト・クラブ理事
- ・黒羽亮一
元日経新聞論説委員・元筑波大学教授
- ・岡村勲
元日弁連副会長
- ・榊原定征
経団連名誉会長
- ・中村東蔵
歌舞伎俳優、人間国宝
- ・吉住小三代
三味線音楽普及の会理事長、吉住流家元母堂
- ・河北博文
社会医療法人河北医療財団理事長
- ・福田博
弁護士・元最高裁判事
- ・石川幹子
中央大学研究開発機構・機構教授、
東京大学名誉教授
- ・翁百合
日本総合研究所理事長
- ・野依良治
ノーベル化学賞受賞者
- ・田沼武能
写真家・文化勲章受賞者
- ・上原敏夫
一橋大学名誉教授・弁護士

(敬称略・順不同)

署名にご協力をお願い致します!!

番町の町並みを守る会は 日テレ通り沿道の超高層ビル建設計画を 許可しないことを千代田区長に要望致しました

- 番町地域にご関係の皆様へ -

番町の町並みを守る会は、樋口高顕千代田区長に本年3月30日付けで要望書を提出致しました。[資料1]の通りです。

番町の閑静な住宅街・文教地区としての環境を維持するため、超高層ビルを建設しないようお願いする趣旨です。この要望書に対し、[資料2]の通り番町在住や番町にご縁の深い顧問の方々にも賛同の署名を頂き、これも区長宛に提出致しました。

しかしながら、最近になって超高層ビル建設に向かったの具体的な動きが出始めています。このため、番町の町並みを守る会は番町地域に在住・在勤・在学なさっている方々および番町にご縁のある皆様の希望を改めて区長にお伝えするために、ご署名をお願いすることにしました。

要望書の趣旨にご賛同頂ける方は、左欄下の葉書に住所・氏名を記入いただき、切り取った上、投函いただけますと幸いです。尚、投函にあたり切手は不要です。

主催：番町の町並みを守る会

〒102-0085 東京都千代田区六番町4-11 朝日六番町マンション501号

HPは：<https://bancho-machinami.com/> お問い合わせは：infobancho@machi-kaeru.com

※お送りいただきましたメールは「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外の目的では使用致しません。

郵便はがき

料金受取人払郵便

102-8790

208

麹町局
承認

3793

差出有効期間
2021年12月
31日まで
(切手不要)千代田区富士見 2-1-11
トウセン富士見ビル 3F大橋智子建築事務所気付
番町の町並みを守る会 行

点線に沿って、切り取り、
お近くのポストに投函ください。裏面に署名記入欄がございます。
このハガキに切手は不要です。
ご協力お願いいたします。

番町の町並みを守る会より樋口区長に提出した令和3年3月30日付け要望書

令和3年3月30日

千代田区長 樋口 高 頭 殿

(写) 千代田区議会議員 小 林 たかや 殿

千代田区都市計画審議会会長 岸 井 隆 幸 先生

千代田区環境まちづくり部まちづくり担当部長 加 島 津世志 殿

要 望 書

日テレ通り沿道には地区計画によって建物の高さを最高60メートルまでとする制限がかかっておりますが、日本テレビ放送網株式会社（以下、日テレ社）からこれを超える高さのビルを建てようとの提案が区当局に提出されようとしていると聞き及んでおります。この提案は、都市計画法の都市計画提案制度を用いて、地域への公共貢献の見返りとして既存の都市計画制限の緩和を認める再開発等促進区の適用を想定したものと理解しております。

私共は、日テレ通りが整備され、利便性が高まることには、賛同いたします。この事は、2ヘクタール近い広大な土地において、現行の地区計画の範囲内で十分可能であると考えております。住宅街・文教地区である番町の環境を守ることは、住民のみならず番町内の小・中・高等学校の児童・生徒・保護者の強い要望でもあります。特に、近年日本にやってくる台風の勢力が強化する傾向が顕著であり、ビル風の影響は一層懸念されると思います。是非とも番町の環境を劣化させる事がないようにまちづくりを進めていただきたく存じます。

日テレ社側は、有楽町線麴町駅番町側出口をバリアフリー化するためのエレベーターとエスカレーターを設置すること、災害時の避難場所や地域のお祭り等に利用できる広場を設置すること、歩道の拡幅などを公共の利益への貢献として挙げる意図であると理解しております。しかしながら、バリアフリー化は地下鉄の出口近くにビルを建設しようとする地権者・ディベロッパーならば、ビルの商業的価値を高めるために必要な設備として当然に設置するものでありますし、災害時の避難場所としては番町地域に多くの学校の校庭や体育館があります。むしろ屋間人口を大きく増加させるような再開発を行うことこそが、災害時の帰宅困難者等を多く発生せしめる原因となるのではないのでしょうか。地下鉄麴町駅のキャパシティーは限られており、ラッシュ時に一層混雑することも懸念されます。また、お



祭り等の年に1回から数回くらいのイベントであれば、日テレ通りを銀座通りのように交通を遮断して利用すればかえって大きな盛り上がりが見込めると思います。ご高承のように、銀座は毎週銀座通りを歩行者天国にして大成功しております。しかしながら、住宅街・文教地区である番町を過度に繁華街化しようとするのは、本末転倒であります。適度な賑わいを実現するという観点に立てば、歩道の大幅な拡幅等も不要であります。

私どもは、株式会社である日テレ社が保有不動産や新たな不動産投資について、そこから得られる利益を極力増大させようとする経営努力は十分理解できます。しかしながら、その努力は地域の特性を考慮して定められている地区計画の範囲内でなされるべきであります。個別企業の利潤追求のために、現存する地区計画が変更されるようなことはあってはならないと考えます。また、東京という地価の高い地域での土地の高度利用を計ることが求められていることも十分認識しておりますが、これも地域毎の特性をよく考慮して行われるべきものでありましょう。かつては千代田区の定住人口が減少の一途をたどり、人口増加が区政の大きな課題であった時期もありましたが、現在はかなり人口が増加して区内の小・中学校がすでに一杯の状況になっており、これ以上の住居の増加は大きな問題を招来するおそれがあるのではないのでしょうか。

こうした観点から、私どもは番町地域の特性に鑑み、かかる再開発等促進区の提案を認可しないよう要望いたします。

番町の町並みを守る会 共同代表

茂 木 七左衛門

中 原 秀 人

大 橋 智 子

山 本 光太郎

堀 義 人

橋 本 百 合

ご住所・氏名をご記入のうえ
点線で切り取り、お近くのポストに投函ください。
切手は不要です。ご家族やご近所・お知り合いも
ご一緒に署名していただければ幸いです。
ご協力お願いいたします。

※ご記入いただいた情報は、署名提出のみに使用いたします。
※記入欄が足りなくなった場合は、恐れ入りますが表面の下部に記載している「番町の町並みを守る会」のお問い合わせ先にご連絡下さい。速やかに郵送させていただきます。

私は、番町の町並みを守る会が樋口千代田区長に提出した令和3年3月30日付け要望書の趣旨に賛成し、区長に対し番町地域の地区計画を守り超高層ビルの建設を許可しない事を要望致します。

住所
氏名
令和 年 月 日
番町地域との関係 [在住 在勤 在学・その保護者 その他]
住所
氏名
令和 年 月 日
番町地域との関係 [在住 在勤 在学・その保護者 その他]
住所
氏名
令和 年 月 日
番町地域との関係 [在住 在勤 在学・その保護者 その他]